

## 事業概要シート

施策	1802	利便性の高い公共交通の確立	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	長崎空港50周年記念ソウル便復活キャンペーン事業		新規
事業期間	令和7年 ~		予算額
根拠法令要綱等			500 千円
			<< 0 >>千円
			国庫支出金 0 千円
			県支出金 0 千円
			地方債 0 千円
			その他 0 千円
			一般財源 500 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

令和7年5月に長崎空港が開港50周年を迎えるにあたり、記念事業として、長崎-ソウル線を利用するツアーに対し、助成を行い、ソウル便の安定的な維持、さらなる拡充を図ることを目的とする。

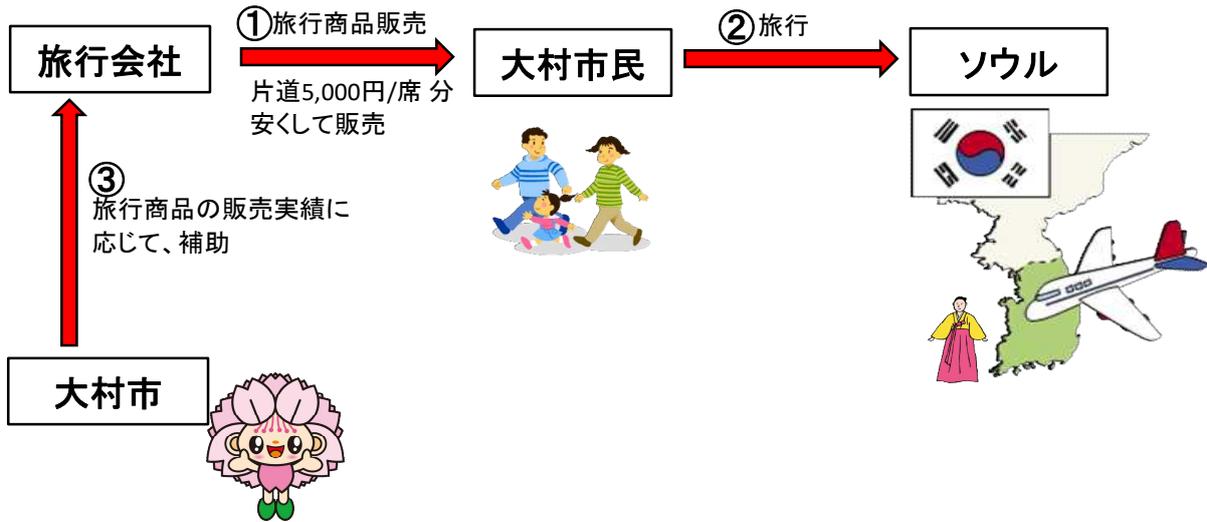
**【概要】**

旅行会社が販売する旅行商品（大村市民限定、ソウル便利用）の実績に応じ、片道5,000円の助成を行う。

**【対象】**

市民、団体等

**<補助の流れ>**



**【背景】**

長崎空港は、アジアに向けた西の空の玄関口として重要な役割を担っているが、ここ数年は国際情勢やコロナ感染症の流行などを理由に国際線は運休の状況であった。

そのような中、コロナが収束し人の移動が活発化してきたこともあり、平成31年3月から運休していた国際線のソウル便が、令和6年10月27日に運航を再開した。

また、令和7年5月に長崎空港が開港50周年を迎えることもあり、このタイミングで記念事業として、長崎-ソウル線を利用するツアーに対し、助成を行うことで、ソウル便の安定的な維持、さらなる拡充を図りたい。

担当課	産業振興部商工振興課交通政策室	室長	児玉 英輝
担当者	宮崎 政義	問合せ先	0957-53-4111 内線248

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	周知回数	回	—	—	4	—	—
②							

### 【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	本事業の補助対象となる旅行商品（大村市民限定、ソウル便利用）の利用者数	人	—	—	35	—	—
②							

### 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	8	R 9	合計
事業費	0	0	0	500	0	0	500
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				500			500
人件費	0	0	0	3,389	0	0	3,389
職員(人)				0.40人			0.40人
時間外勤務(h)				240h			240h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	3,889	0	0	3,889

妥当性 (市の関与)	県が事務局を務める長崎空港活性化推進協議会においても国際線の利用促進につながる助成を行っており、市が国際線の1つである長崎-ソウル線を利用するツアーに対し、助成を行い、ソウル便の安定的な維持を図ることは妥当性が高い。
有効性 (施策貢献度)	国際線の1つであるソウル便の安定的な維持、さらなる拡充が図られるので有効である。国際線を安定的に確保することにより、本市の高速交通をはじめとする公共交通の充実が図られる。
効率性 (コスト)	旅行会社が組んだツアーに対し、助成を行う形とするため、旅行者ごとに助成するよりも事務手続が効率的である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり